

株式会社やまみ(プライム市場 2820)

2023年6月期第3四半期業績概要

新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しているものの、ウィズコロナの下で、経済活動は徐々に持ち直しの動きが見られ、当社では大きな影響は発生しておりません。

仕入れ等については、新型コロナウイルス感染症発生前と、変わらない状況であり、製品の供給に必要な物資等は変わらず確保されております。

売上高においても順調な推移であり、2023年6月期第3四半期（7月～3月）においても大きな影響はございませんでした。

当社は食のサプライチェーンの一員として、状況に応じた感染予防対策を講じており、消費者の皆様へ安心・安全な製品の安定供給に万全を期しております。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速度的に進行しております。大豆や食用油の価格上昇以外にも、原油価格の上昇による包装材料や物流費など各種コストは円安とも重なってさらに上昇しており、コスト環境は事業者には特に厳しい市場環境となっており、同業他社の廃業も増加の一途を辿っております。

そうした環境の中、収益性の低い伝統的なお豆腐から収益性の高いカット3P豆腐や競争力の高い厚揚げ等、お取引様に認知頂いている製品への集約を進めてまいりました。また、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進め、売上高は計画比増加と順調に推移しておりますが、製品製造における急激な仕入れ単価の上昇分をすべて転嫁するまでには至っておりません。

富士山麓工場の進捗について

富士山麓工場においては、関東圏でのお取引先様にも北海道産大豆を使った新規商品を始め乾燥刻み揚げ、作りにくい木綿厚揚げ等幅広く商談を進めております。これにより、当社製品の競争力と供給力の高さが好評を得て、2023年6月期第3四半期は、1,527百万円の売上高（前年同四半期は1,057百万円）と469百万円の増加となりました。

また、営業利益は原材料価格やエネルギー価格の高騰もありましたが、△307百万円（前年同四半期は△386百万円）と79百万円赤字幅が減少しております。

富士山麓工場の償却負担は2023年6月期第3四半期において（対象9か月間の）月平均負担額は約40百万円となっております。（前年同四半期の償却負担の月平均負担額は約47百万円）

○業績サマリー（第3四半期 前年同四半期比・計画比）

単位：百万円

	2022年6月期 第3四半期実績	2023年6月期 第3四半期計画	2023年6月期 第3四半期実績	前年同期比 増減率	計画比 達成率
売上高	10,425	11,250	11,993	15.0%	106.6%
営業利益	782	678	768	△1.8%	113.3%
経常利益	783	690	790	1.0%	114.5%
四半期純利益	516	525	629	21.7%	119.8%

(注)2023年6月期第3四半期計画の数値は、「2023年6月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期業績予想の数値を4分の3にしたものです。

1. 2023年6月期第3四半期業績概要

◎売上高

売上高は、当社主力商圏（中四国・関西地方等）での販売が堅調であったことに加え、特に関西エリアでの販売が引き続き好調に推移しております。また、すべての営業地域で国内産大豆を使用した製品のセールスを強化したことにより、売上高は前年同四半期比では1,568百万円の増加、計画対比でも747百万円の増加となる11,993百万円となりました。

◎売上総利益

売上総利益は、売上高が大きく伸びましたが、原材料、資材の高騰及びエネルギー価格の高止まり等で製造原価が前年同四半期と比べ1,414百万円増加したため、売上総利益は前年同四半期比では154百万円の増加となる2,405百万円となりました。

◎営業利益

営業利益は、運賃コスト上昇に伴う荷造運賃が前年同四半期期と比べ127百万円増加したため、前年同四半期比では△13百万円減少いたしましたが、経費削減を図ることで計画対比では90百万円の増加となる768百万円となりました。

◎経常利益

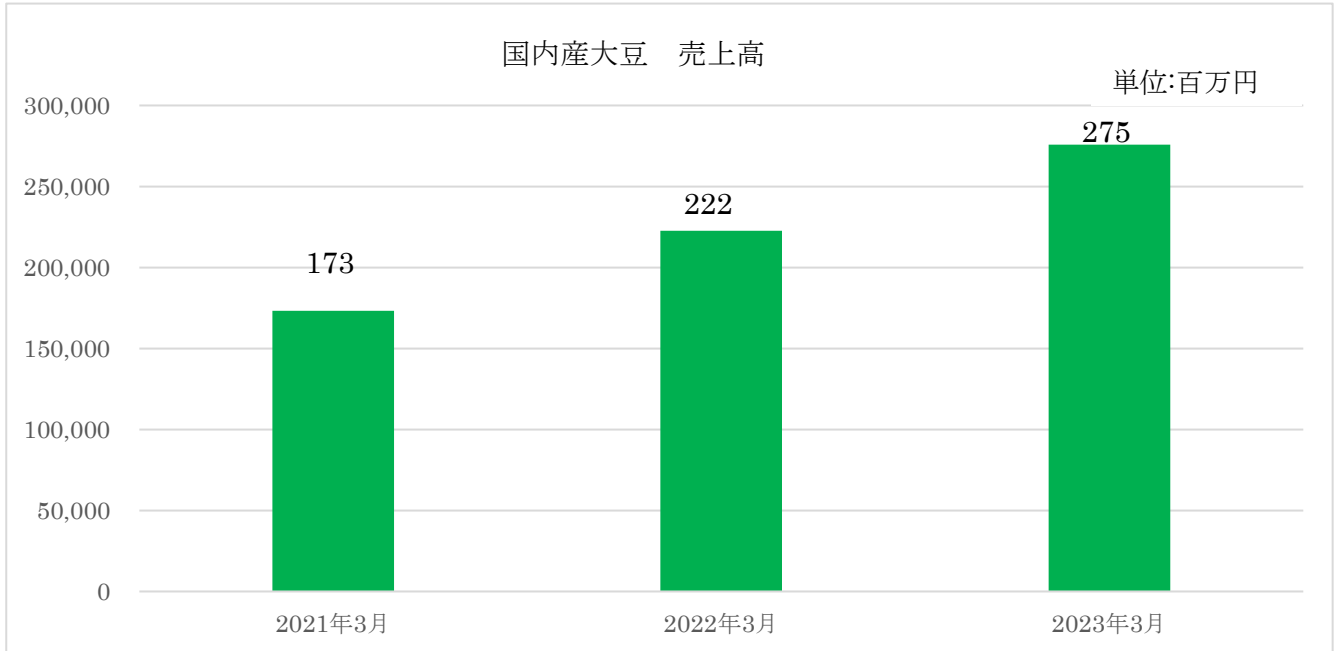
経常利益は、受取保険金の20百万円の収入があり、前年同四半期比では7百万円の増加となり、計画対比でも100百万円の増加となる790百万円となりました。

◎四半期純利益

四半期純利益は、農林水産省補助事業である「輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業」の補助金収入145百万円があり、法人税等も増加致しましたが前年同四半期比では112百万円の増加となり、計画対比でも104百万円の増加となる629百万円となりました。

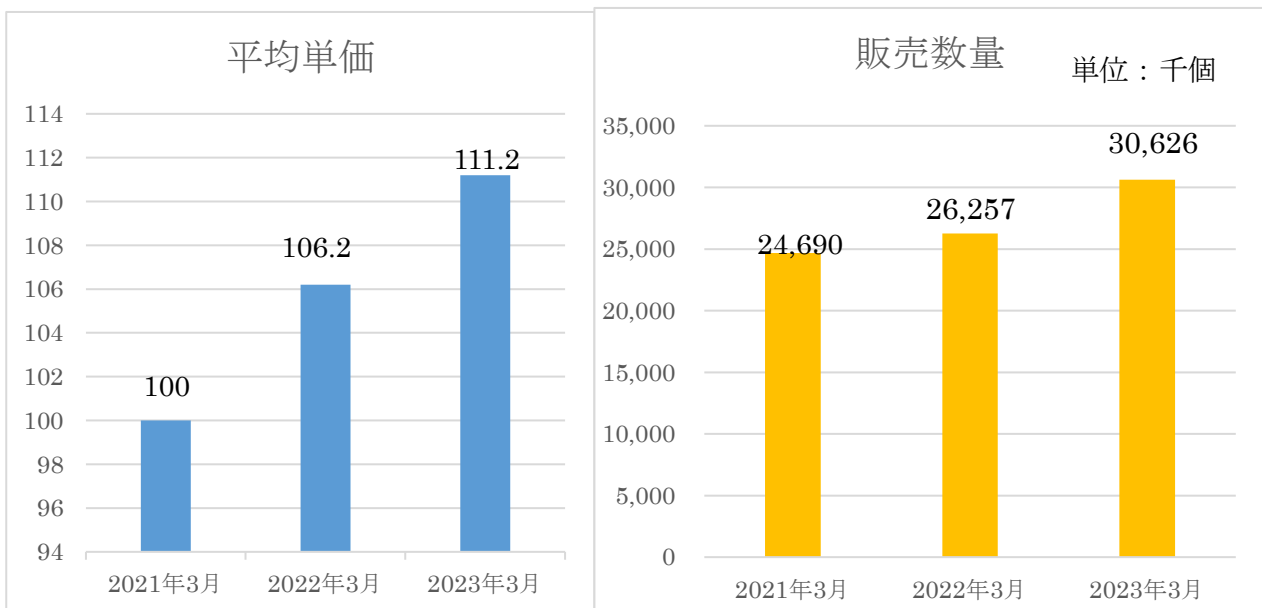
○国内産大豆を使用した商品の売上高推移

お取引様には低価格製品の価格改定をお願いしているところがございますが、同時に国内産大豆を使用した商品の営業を進め、同商品の2023年3月1か月間の売上高は2022年3月と比較して53百万円増加して275百万円となりました。



○2023年3月1か月間の平均単価と販売数量

2022年6月期から国内産大豆を使用した商品への切り替えを進め、2021年3月の全製品販売単価を100とした場合、2023年3月の平均単価は111.2に上昇致しました。また、販売数量につきましても、平均単価は上昇致しましたが買い控えが起こることはなく、2023年3月の販売数量は2022年3月と比較して4,369千個増加して30,626千個となりました。これは、美味しさを追求した商品が消費者の皆様徐々に認知された結果であり、お取引様にも喜んでいただけていると考えています。

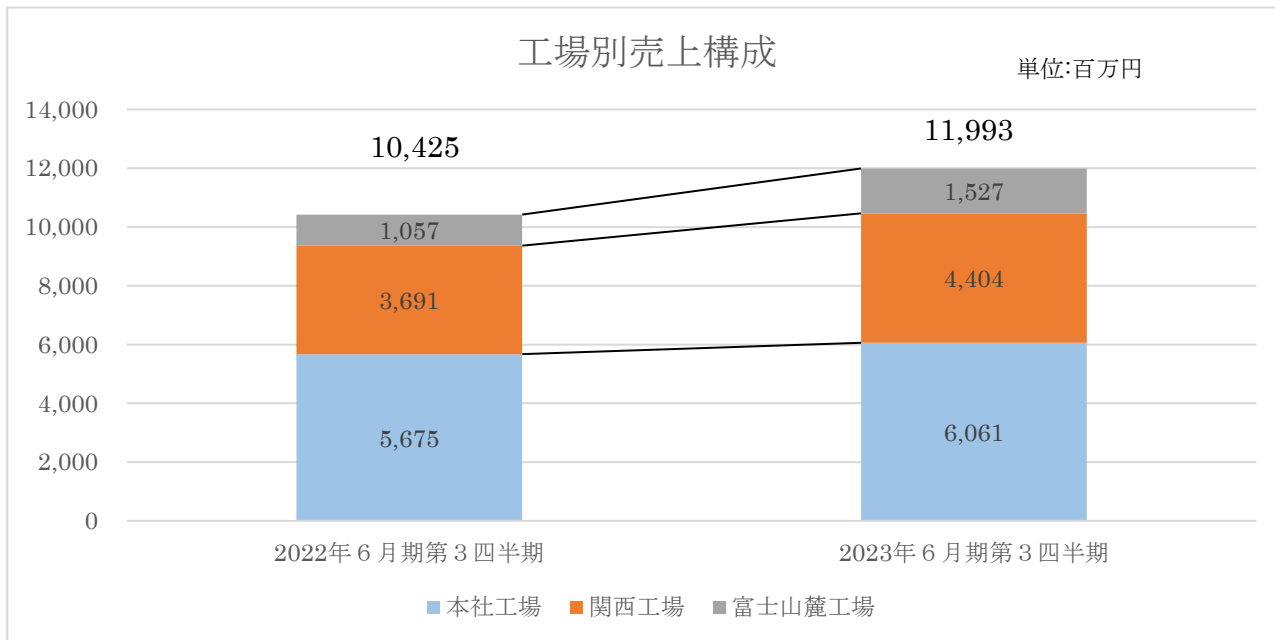


(注)2021年3月1か月間の全製品の平均単価を100とした指標です。

○工場別売上構成について

2023年6月期第3四半期における当社の工場別売上構成について

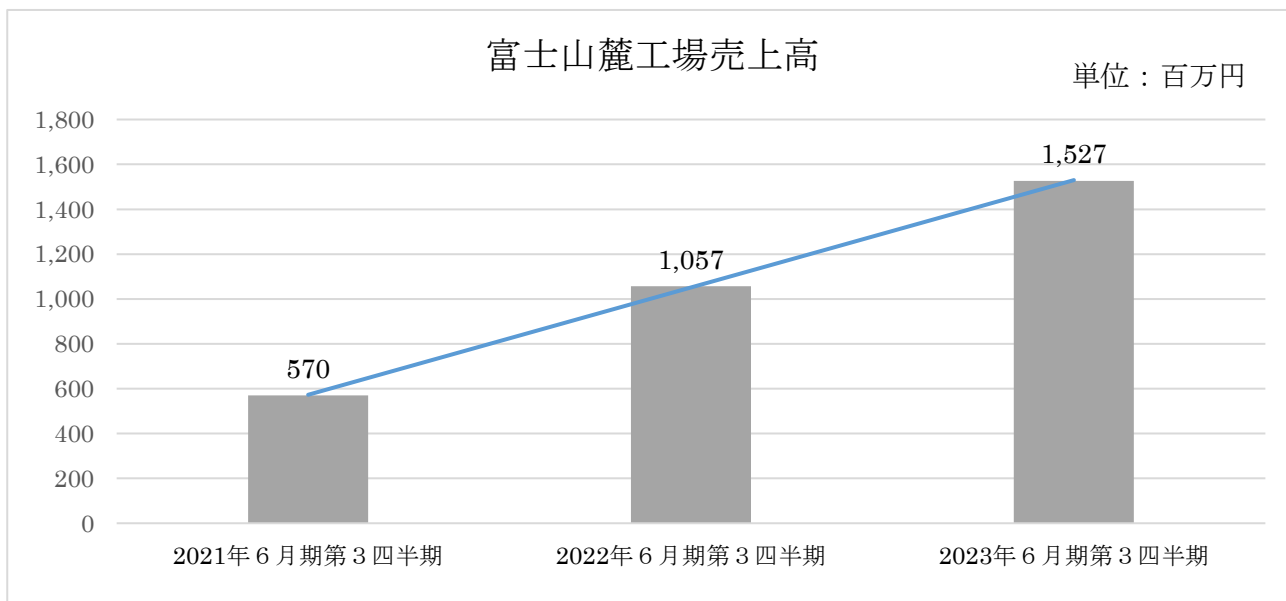
当社の主力商品である豆腐だけでなく、厚揚げ・油揚げ等も好評で、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進め、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、全ての工場で前年同四半期比を上回る売上高となりました。



○富士山麓工場売上高について

(注)2021年6月期第3四半期に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したと仮定して算定の数値

富士山麓工場については、関東でのお取引様に当社製品の競争力、品質が認知され幅広く商品の納入が増加していき、2023年6月期第3四半期における売上高が1,527百万円となり、前年第3四半期の1,057百万円から470百万円増加しました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和 50 年 1 月

代表者： 代表取締役社長 山名 徹

資本金： 1,245 百万円

事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売

本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛 73 番地 5

事業所 関西工場

滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 16 番地

富士山麓工場

静岡県駿東郡小山町湯船字下原 959 番 16

大阪営業所

大阪府茨木市末広町 4-41-202

東京営業所

東京都北区東田端 2-7-16 神原ビル 2 101 号室

従業員数 正社員 233 名、パート社員 290 名

合計 523 名 (2023 年 3 月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL : 0120-047-803 FAX : 0848-86-3676 e-mail : ir@yamami.co.jp

本資料は、2023 年 6 月期第 3 四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は 2023 年 5 月 11 日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。